

## 第22回 議会改革調査特別委員会 会議録

---

日 時 令和8年2月18日（水曜日） 午前9時30分 ～ 午前11時00分  
場 所 白杵庁舎議会棟 議会応接室

---

### 出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳                      副委員長 梅田 徳男  
委 員 川辺 隆                      委 員 芝田 英範                      委 員 安東 鉄男  
委 員 甲斐 尊                      委 員 平川 幸司

---

### 欠席委員の氏名

（ な し ）

---

### オブザーバー

（ な し ）

---

### 説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

---

### 出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英    次長 小嶋佳希    書記 原 伸行    副主幹 工藤真里子

---

### 傍聴者

（ な し ）

---

### 協議事項

1. 協議事項の整理について
  2. 市民アンケート結果の検証について
  3. その他
- 

午前9時30分 開議

## 協議事項

### 1. 協議事項の整理について

(1) 議会だより

(2) 議場コンサート

(3) 議会体験会

○委員長（伊藤 淳）

前回、欠席だった委員もいるので、前回整理した協議事項の内容について振り返りたい。

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員（意見）

・説明の中で、令和8年度に実施する内容や取組を継続するとあるが、説明した内容の明文化が必要だと思う。これまでも様々なことをやってきたが、言葉だけで進めていくと、忘れてしまうことがある。文章として、先例及び申し合せなどに明記すべきだと思う。

⇒○委員長（伊藤 淳）

・委員会で協議した事項について、方向性が定まってきたものを明文化するべきと考えている。また、議会改革を継続していくためにも、明文化が必要だと思っているので、最終的にご検討いただくよう考えている。

○委員長（伊藤 淳）

前回の事項については、説明の通りとして良いでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

【協議結果】 前回の内容確認後、変更なし

### (4) 議会生配信の拡大

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

開かれた議会を目指すための情報発信の手段の一つとして取り組んできた。ケーブルテレビの生中継を実証実験として実施し、実装に向けた検討を行った。また、より広い年齢層に見ていただきやすくするため、YouTubeの生配信の導入を検討してきたところ。

協議の結果として、令和8年度よりケーブルテレビの生放送は本格実施し、YouTubeについては、その必要性は確認できたが、改選後も継続して整理すべき事項があるため、引き続き協議が必要と取りまとめ、議長に報告するよう考えている。また、YouTubeに限らず、より広い層の市民への情報発し方法を研究することも必要だと考えていますが、いかがでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

【協議結果】 ①令和8年度より、ケーブルテレビの生中継を本格実施

②YouTubeの生配信実施を目指して、検討継続。

改選後、確認事項等を協議し、実施の可否を判断。

③YouTubeに限らず、より広い層の市民への情報発信方法を研究。

## (6) 市民アンケート結果を受けた取組

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

取組の流れについて説明がありましたが、3月3日に議員間討議会を行う件、その説明を2月24日の議員ゼミナール後に行う件を含め、このような流れで行うことでよいでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

**【協議結果】 提案のとおり、確認**

## 2. 市民アンケート結果の検証について

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

市民アンケートの結果を受けて、議会の内容が分かってもらえていないという意見がでていて、今後、どのような取組を行っていくかということで、前回の議会改革調査特別委員会の委員の意見をお聞きして、先ほど説明のあった資料のとおりまとめたところです。今回は、資料の他に付け足しの部分があれば、お聞きしたい。お聞きした上で、3月3日の議員間討議会で報告し、さらに全議員から意見をいただきたいと考えている。

○委員（意見）

・効率性を高めるということで、議員定数の削減又は議員報酬の削減を検討とあるが、議員の多様化に向けた対応としては、逆に報酬を上げて、立候補への意欲の醸成を図るというのを入れるべきではないかと思う。相反する意見となるが、そう感じた。

⇒○別の委員（意見）

- ・議員に係る費用全体を見て、議員数を減らすことで、議員報酬を上げてより立候補しやすい環境作りをすべきという意見もあるので、どちらも表記すべきだと思う。
- ・アンケートを集約した結果、全てに対応できるわけではないことから、対応できるもの、実施できるもののみを表記すればよいと思う。
- ・アンケートに限らず自治会連合会との意見交換会等でも、そのような声を聞くことがあったので、議員報酬を増やす意見があることは、表記すべきだと思う。様々な意見があり、それを見据えて検討することは示すべきではないかと思う。

⇒○委員長（伊藤 淳）

- ・議員定数を削減した上で、議員報酬を上げるべきというのは、自治会連合会との意見交換でもいただいた意見だと思うので、それは表記するようにしたい。
- ・『議会改革として、具体的な内容を実施すべきもの』について、議員間討議会を経て特別委員会で取りまとめるとして、その後はどのようにするのか。実施するとすれば、予算が伴うものもあり得ると思うが、その点はどうするのか。

⇒○委員長（伊藤 淳）

- ・今回は、特別委員会で取りまとめて、今後進める方向性を示すことができればと考えている。
- ・③効率性を高める取組の検討で、『議員定数の削減又は議員報酬の削減を検討』とあるが、「又は」ではなく、「及び」という表現が適切だと思う。

⇒○委員長（伊藤 淳）

- ・両方あり得るということで、修正したいと思う。

○委員長（伊藤 淳）

- 変更した資料を委員会のとりまとめとして、議員間討議会で活用とすることとしたい。  
（ 「異議なし」の声 ）

【協議結果】 資料の一部を修正し、議員間討議会等の資料として使用することを確認。

### 3. その他

○委員長（伊藤 淳）

- 本日の協議事項が予定より早く終了したので、協議事項とはしていませんでしたが、今後協議が必要となる「議会改革及び活性化を継続するための推進体制」について、協議したい。  
（ 「異議なし」の声 ）

・議会改革及び活性化を継続するための推進体制について

◎事務局（原 伸行）

- （ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

- 本特別委員会で、取り組んだ調査研究の結果を、議論し継続していくためには、しっかりした組織体制が必要であるので、事務局と準備を進めており、今回選択肢を示させていただいたところです。自分自身、一委員としての意見では、「②協議・調整等の場」として今後整備すると、継続性を担保するという点、議会基本条例の条文を実現する点でも望ましいかなと思っていますが、委員の意見をお聞きしたい。

○委員（意見）

- ・議会改革や活性化について、「③議会運営委員会」で取り組んでいる市議会もありましたが、議会運営委員会への過度の負担や議会改革等の内容が、議会内の調整から外れる部分もあり得るので、議会運営委員会が所管すべきではないと思う。また、「④任意の会議」という選択肢も示されましたが、任意の会議では対応できない事案もあり得るため、継続

性がないと思う。「①特別委員会」「②協議・調整等の場」の2つの選択肢で検討するのが良いと思う。

- ・議決を得て取り組むということは、市民へのアピールという意義があるため、「①特別委員会」が良いと感じる部分もあるが、継続性を担保するという意味では、「②協議・調整等の場」が良いと感じる。「①特別委員会」の時限的というのは、どの程度までなら長期間にすることかが可能か。

#### ⇒◎事務局

- ・特別委員会は、調査が終了したとき、もしくは、議員の任期4年間で最長となると考えられます。

#### ⇒○同じ委員

- ・それであれば、「①特別委員会」の形式に戻す可能性も残しつつ、一旦「②協議・調整等の場」を設置するのが良いと思う。
- ・現在も必要があって「①特別委員会」を設置しているので、現状のとおりでよいと思う。
- ・「①特別委員会」は、設置の意向がなければ、設置できないとのことなので、その点が懸念。ただ、『②協議・調整の場』は協議結果の効力が弱いように感じる。
- ・議長の諮問がなければ、『①特別委員会』は設置できず、本特別委員会も議長から諮問があった内容について調査し、その結果を議長へ報告するということがよい。

#### ⇒◎事務局

- ・特別委員会の設置は、議長発議ではなく、議員提案を議決して設置することも可能ですが、白杵市議会では、近年での先例はない状況となっています。
- ・継続した協議をやりやすい会議体としては、「②協議・調整等の場」だと思う。議会改革や活性化は、やり続けていかなければならない事項だと考えると、議長の発議があるないよりも、会議規則に定めた中で進めていく環境の方が良いという気がする。

#### ○委員長（伊藤 淳）

本日、提案したものなので決定するつもりはなく、ご意見を広く聞きたかったところです。これまでのご意見を聞いた話を総合すると、「③議会運営委員会」・「④任意の会議」ではなく、継続して検討できる委員会が必要ということは明確になったということだと思うがいかがでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

#### ○委員長（伊藤 淳）

「①特別委員会」「②協議・調整等の場」の設置については、手続き等も必要になるので、その点も踏まえ、今後も継続して協議いただくよう引き継ぎたいと思います。

**【協議結果】** 議会改革及び活性化を今後も継続的に推進できるよう、「特別委員会」又は「協議・調整等の場」の設置を検討し、実施体制の構築を検討する。

- ・次回開催日時の確認 第23回 3月 4日（水）総務委員会（予算委員会）終了後  
第24回 3月10日（火）又は11日（水）一般質問終了後

・今後の日程の確認

3月3日（火）の全員協議会でこれまで決定した協議事項（①議会だより②議場コンサート③議会体験会④議会生配信の拡大）について、今後の取組等の協議結果を報告。

3月25日（水）閉会日に議場にて最終報告を行い、特別委員会を廃止する。

午前11時00分 閉会

---

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和8年2月18日

議会改革調査特別委員会

委員長 伊藤 淳